

銀ちゃんレポート

2022年6月16日 No.186

<発行> 台東区議会議員

<携帯> 080-4457-1987

やまぐち ぎんじろう

山口銀次郎



6月10日区議会本
会議で一般質問をおこ
ないました。

ウクライナからの

避難民支援について

ロシアがウクライナに侵攻し、多くの方が犠牲となり、ウクライナ国外に脱出する方も多く居ます。日本に避難して来ている方もいます。多数の自治体が多様な形で避難民支援策をおこなっています。台東区にも避難している方も居り、そういった方達に対しては適切に対応をしているのとことです。今後台東区として、より支援策を充実させてはどうかと質問しました。

それに対しては、避難民に対しては個々の実情に寄り添った丁寧な支援が大切であると

考えている。本人や支援者と面会し個々の状況をお伺いしている。支援プログラムを作成し、生活を支援している。今後も関係機関と連携を図り、丁寧な支援をおこなっていく、と答弁がありました。

今後もしも支援を積極的におこなってほしいと思います。

線状降水帯予測の

活用について

近年、夏から秋の時期には水害の発生リスクが高くなっています。線状降水帯という、断続的に同じ場所で豪雨が発生する現象による被害も増えています。気象庁が6月から開始した、線状降水帯予測の情報を有効に活用してはどうかと質問しました。

それに対して、新たに提供が開始された発生予測情報により、土砂災害や浸水のリスクを早い時点から検討することが可能となる。水防体制や職員確保などに有効と考える。またこうした情報は、事前の備えに繋がると考える。

現時点では、予想精度に課題はあるものの、大雨災害に対する心構えを一段と高める情報として活用していく、との答弁がありました。

近年線状降水帯の発生により災害が増えている状況では、東京でも発生する可能性はあります。こういった情報をしっかりと活用し、防災に活かして欲しいと思います。